



株主通信

第63期 報告書 2024.1.1 ▶ 2024.12.31

P8 »

中期経営計画(2024年～2028年)
2025年度株主優待制度のご案内
サステナビリティサイトをリニューアルいたしました

P11 » 特集

LOOK Group事業トピックス
LOOK Groupのサステナブルな取り組み
株主様アンケート結果報告

株式会社 ルックホールディングス

Brand Information

ブランドのご紹介

2025年
1月
スタート



スマイソン

1887年創業の伝統とクラフツマンシップに裏打ちされた、上質でモダンなステーションリー&レザーグッズブランド。2025年1月より独占輸入販売をスタートいたしました。



A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。



A.P.C.

アー・ペー・セー ゴルフ

A.P.C.が追求するエッセンスにユーモラスな要素を加え、コースと日常のどちらでも楽しめるゴルフウェアライフスタイルを提案。



KEITH

キース

プリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは、自分らしさを常に意識する女性の為のブランドです。



Repetto

レペット

1947年、ローズ レペットがダンスシューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



イル ビゾンテ

イタリア・フィレンツェ発バッグ・革製品ブランド。タンニン鞣しを施した良質なレザーは、上品な表情でありながらタフ、そして使い込むほどにエイジングが楽しめます。



イル ビゾンテ ウォモ

2008年秋冬コレクションからスタートした、メンズライン。創業者ワニー・ディ・フィリップのユニークなデザインはそのままだ、洗練されたメンズアイテムをご紹介します。



イル ビゾンテ ジュエリー

創業者ワニー・ディ・フィリップが長く尊んできた価値観を、スターリングシルバーに込めて表現した、ブランド初のジュエリー。



marimekko

マリメッコ

独創的なプリントや色使いによって世界中に広く知られるフィンランドのデザインハウス。



CLAUS PORTO

クラウス ポルト

130年以上の歴史があるポルトガルのボディケアとフレグランスのブランド。ポルトガルの香りや風景からインスピレーションを得たフレグランスをベースに、様々な商品を展開しています。



SCAPA

スカパ

1967年創設 ファッション都市アントワープ発信のブランド。





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび、本年3月28日付で代表取締役社長に就任いたしました。私の使命は、「お客さま第一主義」のもと、国内・海外において当社グループの更なる企業価値向上に努め、株主の皆様の期待にお応えすることであると考えております。

引き続き事業基盤の強化を図り、持続的な成長を実現すべく社業の発展に誠心誠意力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ならびにご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

澁谷 治男

当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や、訪日外国人の増加により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、円安や原材料価格・エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げが続く中、個人消費は力強さを欠き、また、中国経済の先行き懸念や中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりに加え、アメリカの今後の政策動向などの影響もあり、依然として不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、訪日外国人の増加による旺盛なインバウンド需要など一部追い風があるものの、生活防衛意識の更なる高まりや、10月以降も記録的な高温が続いたことにより秋冬商戦の初動が遅れるなどの影響もあり、総じて弱含みに推移いたしました。

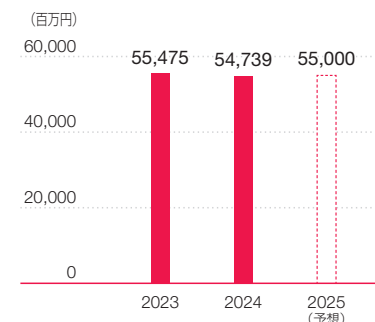
このような状況の中、当社グループは、2024年を初年度とする中期経営計画(2024年～2028年)を策定し、「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に着手し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略に取り組んでおります。安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やブランド価値向上を目的としたイベント等の実施、またEC事業におけるOMO施策を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は547億3千9百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は25億3千万円(前年同期比17.5%減)、経常利益は28億8千万円(前年同期比19.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は19億2千5百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

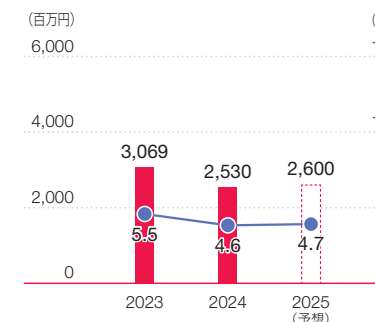
財務ハイライト(連結)

当期の業績			
売上高	547億3千9百万円	経常利益	28億8千万円
営業利益	25億3千万円	親会社株主に帰属する当期純利益	19億2千5百万円

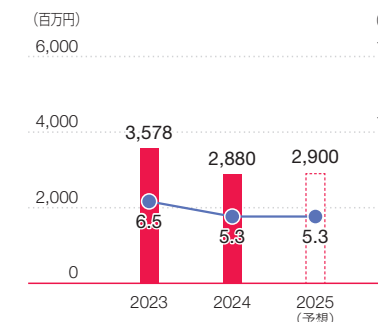
売上高



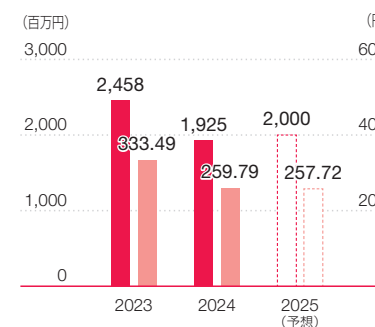
営業利益 ● 営業利益率



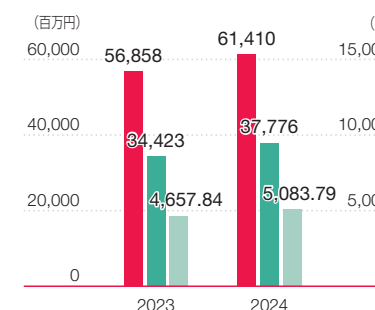
経常利益 ● 経常利益率



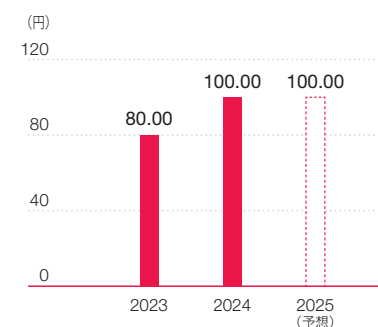
親会社株主に帰属する当期純利益 ■ 1株当たり当期純利益



総資産 ■ 純資産 ■ 1株当たり純資産



1株当たり配当金



セグメント別業績の概況

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業

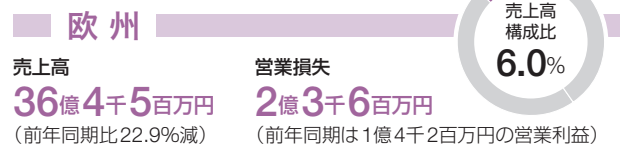


アパレルブランドにおいて、気候の影響で春物・秋物の販売が苦戦いたしました。主力インポートブランドにおいては、積極的な新規出店やイベントの実施、コラボレーション施策の取り組み等により堅調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、ウニッコ柄60周年記念商品を展開するポップアップイベントを開催したほか、ホームカテゴリー等の販売が伸びました。「A.P.C.」においては、引き続きインバウンド需要が拡大したことに加え、11月後半より冬物衣料が売上を牽引したことなどにより好調に推移いたしました。「イル ビゾンテ」においては、折り財布やスマートフォンケース等の売上が牽引し、堅調に推移いたしました。EC事業においては、「マリメッコ」日本公式アプリをリニューアルし、アプリ限定のコンテンツ等の販促施策を強化し、お客さまの購買体験の向上に取り組んだ結果、売上が増加いたしました。



国内の政情不安やアメリカの政策動向の影響など対内外的

不安要素が多く、長期的な低成長に対する懸念が高まっており、継続的な物価上昇や高金利から内需の回復においても鈍い状況が続いております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、自社ECサイトの「I.D.LOOKモール」やアウトレットでのセール販売については堅調に推移をしたものの、百貨店インショップについては、冬物販売において、重衣料等の稼働が低調に推移したことにより苦戦いたしました。



主にイタリアの直営店が、米国を中心とした欧米からの観光客の増加により順調に推移いたしました。また、EC事業においては、オンラインショップのシステム改修によりお客さまの利便性向上に取り組んだ結果、好調に推移いたしました。一方、主力の卸売事業においては地政学的リスクが長期化している中東地域や欧州域内の受注額が減少した結果、売上が減少いたしました。

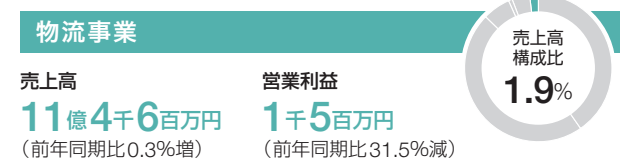


「その他海外」(米国)につきましては、「イル ビゾンテ」の小売事業、卸売事業ともに好調に推移いたしました。営業費用が増加するなどした結果、売上高は4億1千万円(前年同

期比20.6%増)、営業損失は5千7百万円(前年同期は4千9百万円の営業損失)となりました。



「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内への売上高が減少した結果、売上高は23億7千6百万円(前年同期比3.0%減)となり、製造費用等の増加もあり、営業利益は4千万円(前年同期比41.0%減)となりました。



「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ外への売上高が増加した結果、売上高は11億4千6百万円(前年同期比0.3%増)となりました。物流費用等が増加した結果、営業利益は1千5百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

次期の見通し

2025年度のわが国経済の見通しにつきましては、雇用・所得環境が改善するもとで、実質賃金の増加や企業の旺盛な設備投資意欲、減税等の経済対策もあり、内需を中心に底堅い緩やかな回復を維持することが期待されるものの、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、個人消費においては物価上昇による慎重な消費傾向が依然として続くことが想定され、不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況において、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画に基づき、主に3つの基本政策に取り組んでまいります。

- 1 収益基盤の更なる拡大
- 2 資本政策の充実化
- 3 ESG戦略の強化

「収益基盤の更なる拡大」につきましては、2025年度も引き続き出店政策を推し進め、国内主力ブランドで12店舗、海外では10店舗の出店を計画しております。また、主力ブランドの海外新規エリアへの進出の第一歩として、3月にシンガポール高島屋にて期間限定イベントの開催を計画しており、東南アジアを中心とした販路の拡大に取り組んでまいります。その他、国内においては、2025年1月よりイギリスの老舗レザーグッズブランド「スマイソン」の販売を開始し、国内の主要都市等への出店を予定しております。

EC事業においては、2024年度国内においてROS(リクエスト・オーダー・システム)を導入し、お客さまの利便性向上に取

り組みました。2025年度においても、ROSの導入店舗の拡大等、引き続きお客さま満足の永続的な追求や人材の教育により、OMO施策を推進してまいります。

「資本政策の充実化」では、引き続きPBRの向上を重点課題として株価を意識した経営の実現に取り組んでまいります。事業における成長性と収益性の両立に加え、株主優待利用における利便性の向上等を図るとともに、IR開示情報を充実させ、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

「ESG戦略の強化」では、2024年度にサステナブルな視点を取り入れたガバナンスの推進と組織横断的な取り組みの強化を目的としてサステナビリティ委員会を設置いたしました。このサステナビリティ委員会において決定した5つのマテリアリティをもとに、温室効果ガスの削減への取り組みや衣料品回収等の環境に配慮した事業活動の更なる推進、また当社グループの人権および調達方針に基づく持続可能なサプライチェーンの構築に努めてまいります。

当社グループでは、更なる企業価値向上を実現すべく、これらの施策を実行し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略と効率運営を推し進め、中期経営計画最終年度の2028年には、連結売上高700億円、連結営業利益50億円を目指し

てまいります。

なお、2025年12月期の連結業績におきましては、連結売上高550億円(前年同期比0.5%増)、連結営業利益26億円(前年同期比2.7%増)、連結経常利益29億円(前年同期比0.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益20億円(前年同期比3.9%増)を見込んでおります。

次期の配当について

株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、健全な財務基盤の維持、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2024年よりスタートした「中期経営計画(2024年～2028年)」では、この基本方針のもと新たな資本政策の一環として株主還元の強化を掲げており、配当性向30%以上、配当額の下限は調整後DOE*2.0%を基準としております。

2025年12月期の配当(予想)としましては、上記に沿って1株当たり100円を予定しております。

※調整後DOE：支払配当÷前期末調整後自己資本(為替換算調整等の一過性変動要素を除外した自己資本)

業績予想(連結)

売上高 550億円 (前年同期比 0.5% 増)

営業利益 26億円 (前年同期比 2.7% 増)

経常利益 29億円 (前年同期比 0.7% 増)

親会社株主に帰属する当期純利益 20億円 (前年同期比 3.9% 増)

中期経営計画 (2024年～2028年)

当社は、2028年を最終年度とする中期経営計画(2024年～2028年)を策定しました。

長期ビジョンである「お客さまに末永く愛されるライフスタイル創造企業」のために、本中計期間では「収益基盤の更なる拡大と資本政策の充実化、ESG戦略の強化」を行います。

詳しくはこちら



収益基盤の確立

2019年～2023年

本中計期間

収益基盤の更なる拡大と
資本政策の充実化、
ESG戦略の強化

2024年～2028年

お客さまに
末永く愛される
ライフスタイル
創造企業へ

2029年～2033年

目標値

	業績目標	2024年 実績
売上高	700億円 日本300億円／海外400億円	547億円 日本250億円／海外297億円
営業利益	50億円	25億円
営業利益率	7%以上	4.6%
	目標とする経営指標	2024年 実績
配当性向	30%以上 配当額の下限は調整後DOE*2.0%	40.3%
ROE	10%	5.3%

※調整後DOE：支払配当÷前期末調整後自己資本(為替換算調整等の一過性変動要素を除外した自己資本)

2025年度の重点施策

国内主カブランドにおいて
12店舗の新規出店

海外新規エリア
シンガポールでの
期間限定イベントの実施

新規ブランド
「SMYTHSON(スマイソン)」
の販売開始

2025年度株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、株主優待を実施しております。そのご案内と、本年度より更新された内容についてお知らせいたします。



詳しくはこちら

優待内容

1 LOOK@E-SHOPでのご利用

ルックグループのショッピングサイト「LOOK@E-SHOP」(<https://www.e-look.jp>)にてご利用いただけます。

2 優待商品交換サイトでのご利用

食品や人気ブランドのセット商品などが金額ごとに選べます。
※2025年よりカート機能が追加となりました。詳しくは下記ご案内をご確認ください。

3 一部店舗においてのご利用

随時利用可能店舗を更新しております。詳しくはこちらをご確認ください。
https://www.look-holdings.jp/irinfo/investors/pdf/stores_using_shareholder_benefit_coupons.pdf



株主優待商品交換サイトにおけるカート機能の追加について

2025年4月より、「株主優待商品交換サイト」において、ご優待金額の範囲内で商品を複数お選びいただけるよう「カート機能」を追加いたしました。

例) 10,000円の株主優待商品券をお持ちの株主様は、5,000円の優待商品を2セットお選びいただくことが可能となりました。

セット内容や食品の内容を一部リニューアルしております。詳しくはホームページにてご確認ください。

お得なお楽しみ詰め合わせパックの一例

ブランドは、「イル ビゾンテ」「マリメッコ」「A.P.C.」の3つからお選びいただけますが、商品内容をお選びいただくことはできません。(写真はイメージです。)

4,000円お楽しみ詰め合わせパック(1万円相当)



A.P.C.(アー・ペー・セー)



Marimekko(マリメッコ)

8,000円お楽しみ詰め合わせパック(2万円相当)



IL BISONTE(イル ビゾンテ)



Marimekko(マリメッコ)

サステナビリティサイトをリニューアルいたしました



サステナビリティ・CSRサイト
➡トップはこちら
<https://www.look-holdings.jp/csr/>

ルックホールディングスサイトの「サステナビリティ・CSR」をリニューアルいたしました。中期経営計画の政策の1つである「ESG戦略の強化」に基づき、持続可能な社会の実現を目指した事業活動の更なる推進と、情報開示の充実化を目的として、サステナビリティに関連する様々なコンテンツを新たに追加いたしました。

サステナビリティサイトリニューアルの主なポイント

新たに、サステナビリティ推進の指針となる「マテリアリティ」を策定しました。

ルックグループのマテリアリティ（重要課題）

ルックグループは、様々なステークホルダーの期待と信頼に応え、持続可能な社会の実現に向けて役割を果たすために、優先的に取り組むべき5つのマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

環境に配慮した事業活動の推進

- ・ファッションロスの削減
- ・温室効果ガスの削減
- ・リサイクルの推進



「各ブランド、グループ会社の取り組み」として環境に配慮した各活動を紹介する記事を充実させ、ルックグループの取り組みをわかりやすく紹介しています。



「トップメッセージ」、「人権方針」、「調達方針」、「温室効果ガス(GHG)削減の取り組み」など、サステナビリティに関する様々なコンテンツを新設しました。

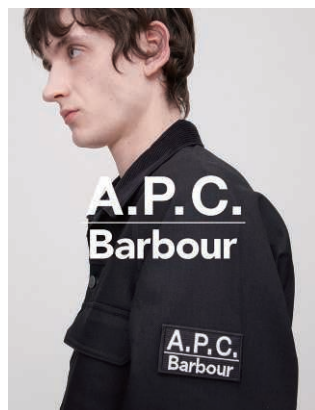


1 LOOK Group 事業トピックス

主力ブランドのブランド価値向上のための取り組み

主力ブランドの積極的な出店

株式会社ルックでは、主力のインポートブランドにおいて、2024年度に11店舗の新規出店を行いました。
(左から:「イル ビゾンテ京都ポルタ店」、「A.P.C.アミュプラザ博多店」、「マリメッコ池袋東武店」)



オフラインイベントや様々なブランドとのコラボレーション

「イル ビゾンテ」では、2024年5月にバッグブランド「TEMBEA」とのコラボレーション商品を販売いたしました。(写真右)「A.P.C.」では、2024年12月に英国ライフスタイルブランド「Barbour」とのコラボレーション商品を販売しました。(写真左上)「マリメッコ」では、フィンランドのジュエリーブランド「カレワラ」とのコラボレーションコレクションを発売いたしました。(写真中央上)また、ブランドを象徴するウニッコ柄

誕生60周年を記念し、3月と5月の2度にわたってランウェイショーを開催いたしました。(写真左下、中央下)いずれも、ブランドの価値向上、発信力の強化につながり、売上にも寄与しました。



海外事業

新ブランド「FURSAC」、「MSGM」の出店

韓国において、株式会社アイディー ルックでは、2024年度に2つの新規ブランドをスタートいたしました。

(左から:「FURSACロッテ百貨店・ワールドタワー店」、「MSGM現代百貨店・本店」)



デジタルマーケティングの強化



OMO施策の推進 (店舗取り置き機能スタート)

OMO施策強化の一環として、主要ブランドを中心に2024年度よりROS(リクエスト・オーダー・システム)を導入いたしました。ご希望の商品を対象店舗でお取り置き、実際に店頭でチェックしてからご購入いただくことができ、お客さまの利便性向上に取り組みました。2025年度につきましては、導入店舗の拡大を予定しております。

マリメッコ日本公式アプリのリニューアル

「マリメッコ」において、日本公式アプリをリニューアルいたしました。オンラインストアを快適にご利用いただけるほか、アプリ限定コンテンツのスタッフスタイリングや、新作コレクション、ショップイベントなどの最新情報をお届けします。クリスマス時期には、アドベントカレンダーのコンテンツをお届けし、お客さまの購買体験の向上につながりました。



2 LOOK Groupのサステナブルな取り組み

ルックグループの「サステナビリティ・CSR」についてはこちら



Marimekko Maridenim

「マリメッコ」において、新たなデニムコレクション「Marimekko Maridenim」を販売いたしました。マリデニムは、エレン・マッカーサー財団の「ジーンズ・リデザイン(The Jeans Redesign)」の指針に従ってデザインされ、80%オーガニックコットン、20%リサイクルコットンを使用しています。その他、ユニッコデザインにはレーザー加工が採用され、化学薬品や水の使用を抑える工夫がなされています。また、リサイクルのし易さを

考慮し取り外し可能なボタンを使っています。どんなシーンでも、どんなスタイルでも、どんなプリントにも映え、かつ環境に配慮した様々なこだわりが詰まったタイムレスなデニムアイテムをラインナップしています。

KEITH・SCAPA衣料品回収キャンペーン

「キース」、「スキャパ」では、お客さまにご愛用いただいた衣料品を回収し、リユース・リサイクルにつなげる取り組みを2024年4月に開始いたしました。

ファッション産業は、資源やエネルギーの使用、ライフサイクルの短命化などの観点から環境負荷が大きい産業と指摘され、環境負荷を考慮したサステナブル(持続可能)なファッションへの取り組みは近年拡大傾向にあります。ルックグループとしても、リサイクルのみならず、製品としての寿命を長く保てるようリユースとしての再販売につなげる取り組みを推進しています。

リサイクルに関しては、株式会社ECOMMITを通じて再資源化を行っています。

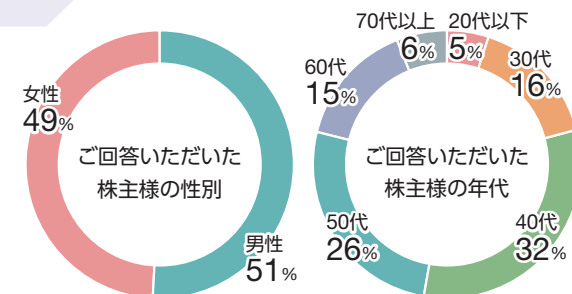


Il Bisonte S.p.Aでの工場見学の実施

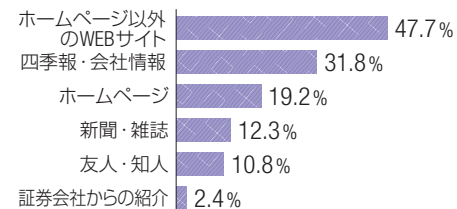
イタリアのIl Bisonte S.p.Aでは、トスカーナ日本人会の希望者を対象として工場見学を実施いたしました。Pontassieve工場において、製造工程の見学や革のプレスレットづくりを体験いただき、地域交流の場となりました。トスカナー州の30km圏内に製造拠点を構え、この地域の職人の育成にも注力するIl Bisonte S.p.Aは、今後も地域社会との共生を念頭に地域に開かれた事業を目指してまいります。

3 株主様アンケート結果報告

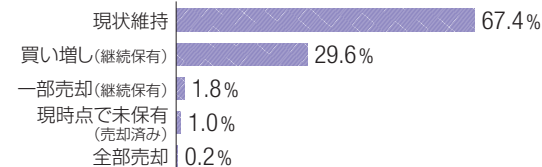
2024年9月～2024年10月にかけて実施いたしました「株主様アンケート」では1,275名の株主の皆様からご回答を頂戴いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、頂戴しました貴重なご意見は今後のIR活動等の参考とさせていただきます。以下に、今回の「株主様アンケート」の結果の一部を掲載いたします。



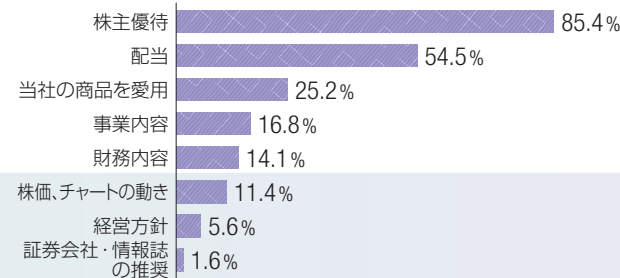
Q 当社株式を購入・取得されるきっかけとなったものは何ですか?(複数回答可)



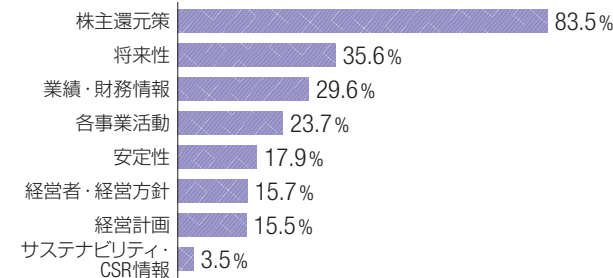
Q 今後の当社株式の保有方針について次のうちから1つお選びください。



Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお聞かせください。(複数回答可)



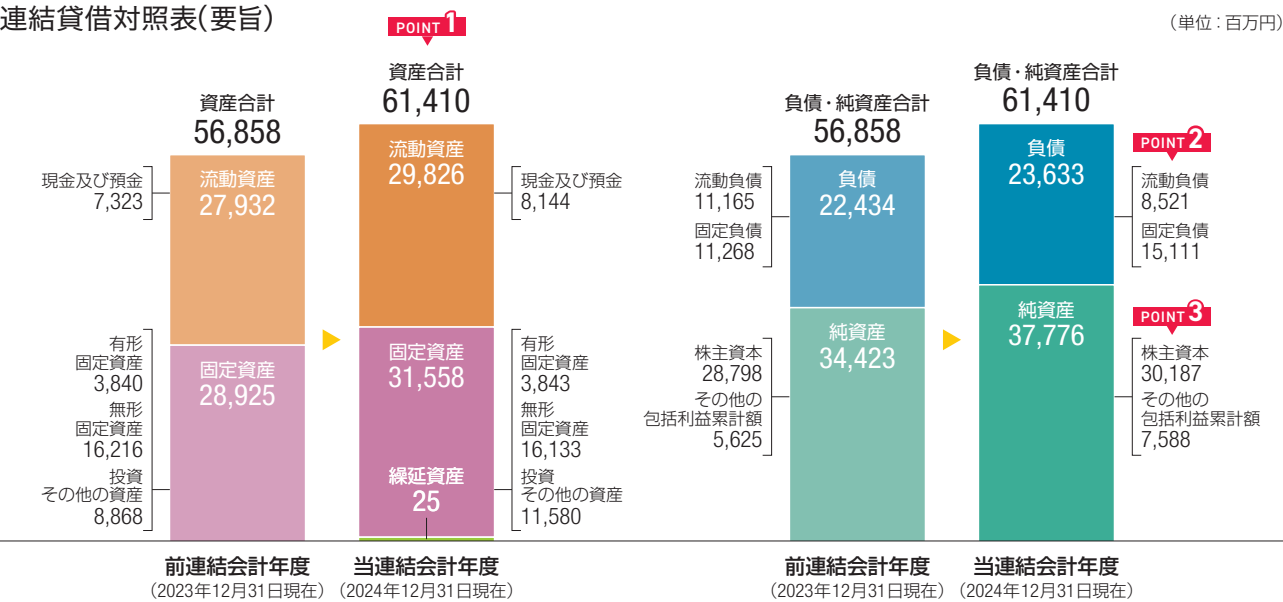
Q 当社において、どのような点について関心をお持ちですか?(複数回答可)



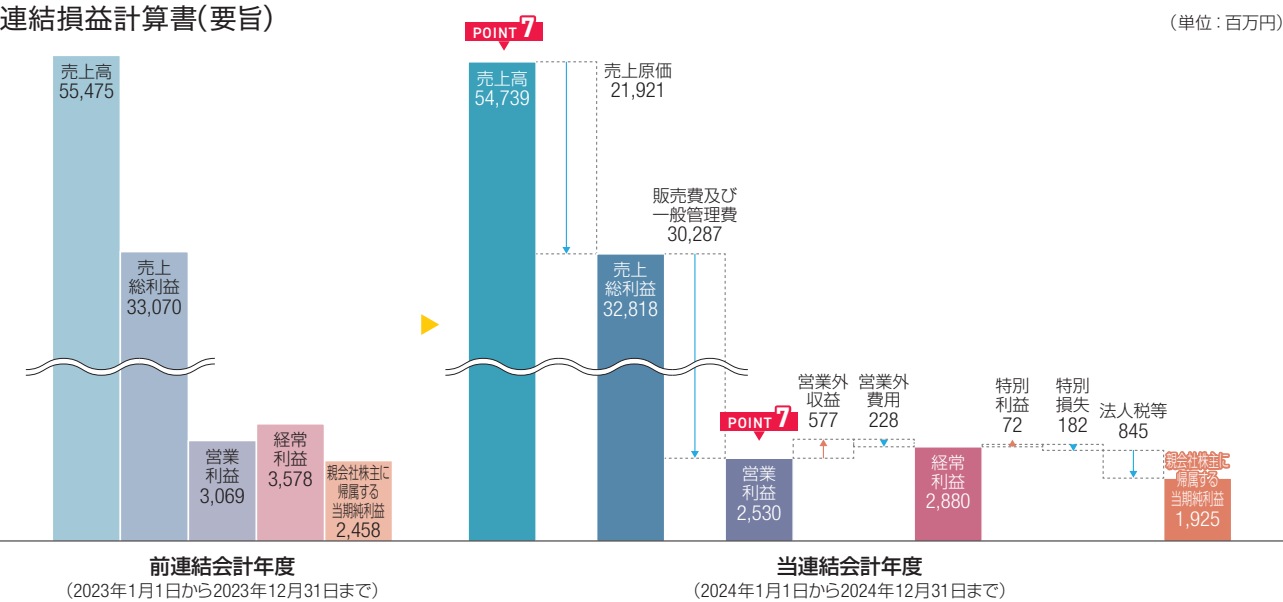
担当者からひとこと

株主様アンケートの実施は昨年で4回目となりますが、1,275名もの株主様にご回答をいただきました。多くの株主様のご回答に改めまして感謝申し上げます。当社株式の購入にあたり重視されたポイントや、当社への関心については、引き続き「株主還元策」、「株主優待」、「配当」などを挙げていただく株主様が多くいらっしゃいました。2025年度の優待制度では、優待商品交換サイトにおいてカート機能の追加や食品のメニューの見直しを行いました。株主の皆様にとって、使いやすく、また魅力ある優待施策を今後も目指してまいります。

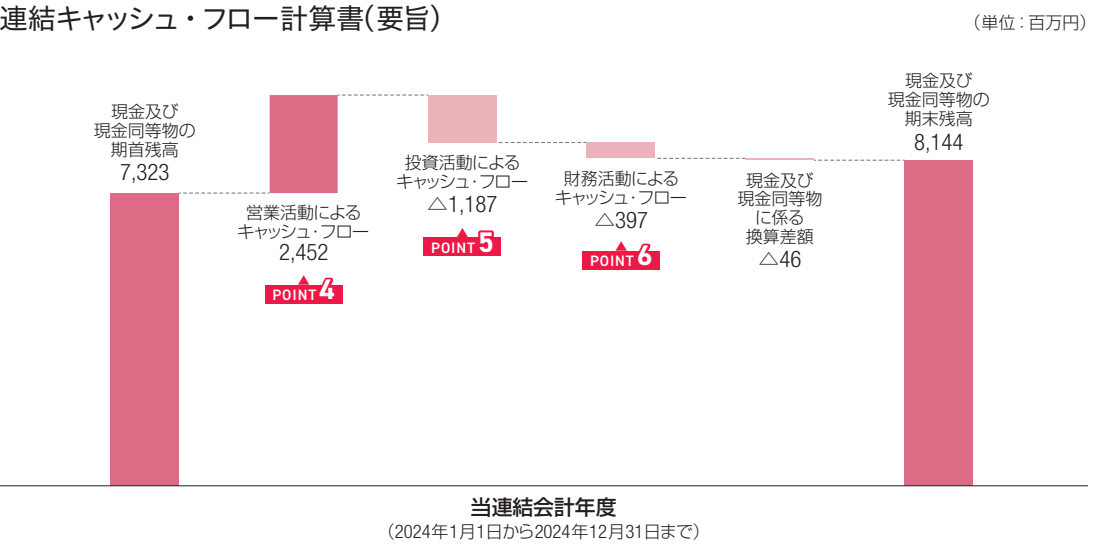
連結貸借対照表(要旨)



連結損益計算書(要旨)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)



POINT 1 資産の部

現金及び預金が8億2千万円、商品及び製品が15億3千9百万円、投資有価証券が22億9百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ45億5千1百万円増加し、614億1千万円となりました。

POINT 2 負債の部

借入金が11億6千1百万円減少しましたが、15億円の社債を発行したことに加え、繰延税金負債が9億9千万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ11億9千9百万円増加し、236億3千3百万円となりました。

POINT 3 純資産の部

利益剰余金が13億5百万円、その他有価証券評価差額金が14億4千万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ33億5千2百万円増加し、377億7千6百万円となりました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は27億7千万円となり、増加要因として非資金項目である減価償却費18億1千2百万円、のれん償却費2億2千8百万円、減少要因として棚卸資産の増加16億2千万円、法人税等の支払額6億7千8百万円などにより、24億5千2百万円の収入となりました。

POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出8億5千6百万円、無形固定資産の取得による支出2億4千万円などにより、11億8千7百万円の支出となりました。

POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

増加要因として社債の発行による収入14億6千8百万円、減少要因として借入金の減少による支出12億2千7百万円、配当金の支払額6億1千7百万円などにより、3億9千7百万円の支出となりました。

POINT 7 売上高、営業利益

売上高は、国内においては実店舗、ECでの販売が増加したものの、韓国における冬物販売の苦戦や、欧州において主力の卸売事業での受注減などにより、前年同期比1.3%の減少となり、営業利益は、韓国でのセール販売の増加や、欧州で売上高の減少により営業損失となったことなどにより、前年同期比17.5%の減少となりました。

会社の概要

商 号	株式会社ルックホールディングス
設 立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資 本 金	64億4,735万円
主 要 な 事 業 内 容	グループ会社の経営管理等
従 業 員 数	939名(連結)
主 要 取 引 銀 行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本 店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2025年3月28日現在

アパレル関連事業

日 本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓 国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.

生産及びOEM事業

株式会社ルックモード

物 流 事 業

株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2025年3月28日現在

代表取締役会長	多田 和洋
代表取締役社長	澁谷 治男
常 務 取 締 役	斉藤 正明
社 外 取 締 役	井上 和則
社 外 取 締 役	秋葉 絢子
常 勤 監 査 役	宇野澤 博文
常 勤 監 査 役	水野 信之
社 外 監 査 役	服部 滋多
社 外 監 査 役	森居 達郎

(注)1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

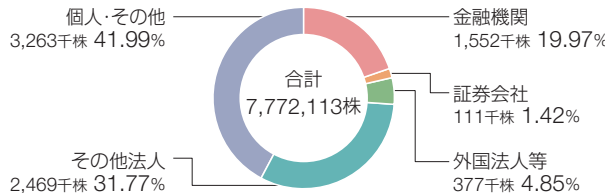
2024年12月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,772,113株
株主数	13,566名
大株主	

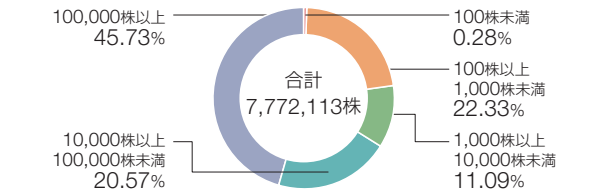
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	856	11.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	572	7.37
美津濃株式会社	369	4.76
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	251	3.24
ルックホールディングス従業員持株会	171	2.21
UAゼンセンルックユニオン	158	2.05
住友生命保険相互会社	154	1.99
特定金外信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	141	1.83
株式会社三越伊勢丹	134	1.73
額川 欽和	134	1.73

(注)持株比率は、自己株式(11,878株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



※自己株式11,878株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「10,000株以上100,000株未満」に含まれております。

株主メモ

事 業 年 度	毎年1月1日から12月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年3月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載します。 https://www.look-holdings.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

IR情報

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短
信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など
最新情報を掲載していますので、ぜひ一度当社のIR
ページをご覧ください。

<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

▼QRコード



／ 15周年を迎えました。 ／

ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

LOOK@E-SHOP

お客さまのライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどからいつでもショッピングをお楽しみいただけます。

<https://www.e-look.jp>

▼QRコード



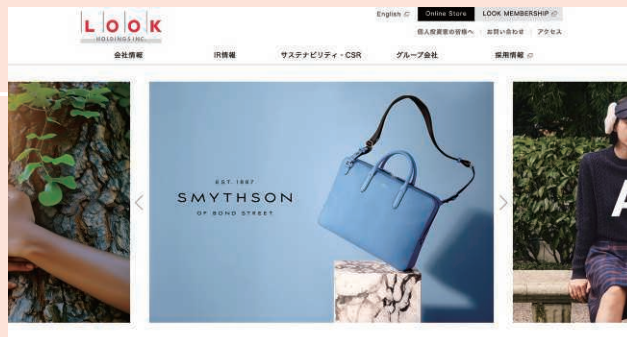
最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

会社情報、トピックス、採用情報などの最新情報をお届けしています。

▼QRコード



<https://www.look-holdings.jp>



株式会社 ルックホールディングス

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。